

防災BOXシリーズ概要

地震が発生し感知装置の設定震度に揺れが達していても、
扉が自動で開く構造には成っておりません。

※設置場所や設置環境などの違いにより気象庁発表の震度や揺れに違いが出ますので、それにより解錠の有無が左右されます。※ユーザー点検を怠ると不動作及び誤動作の原因になりますので、点検は年3～4回行って下さい。



扉の開け方

揺れが設定震度に達している場合はハンドルロックが解錠されていますので、①ハンドルを手前に引き起こして下さい
②反時計回りに90度回転させて下さい ③ハンドルを回転させたまま手前に聞くと扉が開きます。



※装置の設置環境や設置方法などにより、気象庁発表の震度と異なる場合は感知に誤差が発生する場合がございます。
また、本機は機械的に揺れを感じて作動する装置なので、地震以外の大きな揺れでも作動する場合があります。
※本製品によるあらゆる派生的損害について弊社及び関係者は一切責任を負いかねます。

壁面取付けについて

装置を壁面につける場合にはフラットな状態の壁へ
取付けて頂くのが最適な条件です。

※壁面が無い場合には、専用の取付け架台を御用命下さい。

※凹凸壁面へ無理やり取り付けてしまうと、デコボコの高低差によりボックスが歪んだ状態で取り付く事になり、歪みが出ている状態のボックスへ感知装置を無理やり取り付けると、感知装置自体も歪み不動作や誤動作の原因になります。

※壁面をフラットに出来ない場合にはオプションの「凹凸壁面用裏板」をお使いいただき、出来るだけフラットな状態で取り付けて下さい。

使用方法

- 1) 凹凸が少ない場所を選び出来るだけフラット状態にしアンカーボルトを規定寸法に4本埋め込み固定します。
- 2) 固定された4本のアンカーボルトへ「凹凸壁面用裏板」の穴4ヵ所へハメ込み壁面まで押し込みます。
- 3) 「凹凸壁面用裏板」をハメ込んだ後、ボックスをハメて壁面とボックスで「凹凸壁面用裏板」をサンドする形にし、ボックス内部に出ているアンカーボルトの頭へワッシャ、ナットをハメネジ込みしっかり固定して下さい。
- 4) 「凹凸壁面用裏板」とボックスがしっかり固定しましたら、ボックス周りをコーキングし防水対策を施してください。

材質：ステンレス 厚み：t = 4.0とt = 6.0の2種類(凹凸の状況により厚みを変えて下さい。)

サイズ：ヨコ300mm タテ420mm 奥行120mm



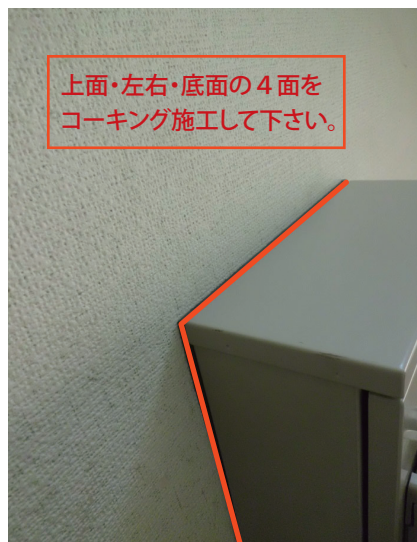
イメージ写真



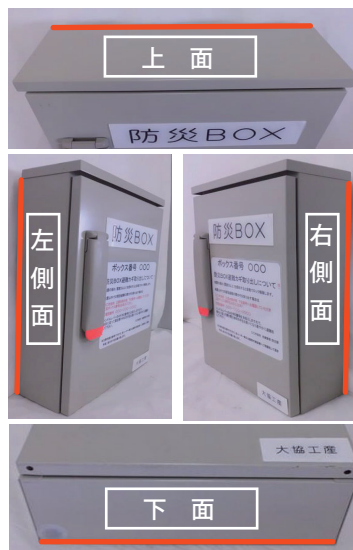
イメージ写真



イメージ写真はボックスと「凹凸壁面用裏板」が接着しているように見えますが、実際は接着していません。あくまでイメージです。



上面・左右・底面の4面をコーキング施工して下さい。



注意

「凹凸壁面用裏板」を使用した場合は必ず厚めのコーキングを4面しっかり隙間が無い様に行ってください。隙間があると雨水などがアンカーボルト用の穴から浸水しボックス内部に溜まり腐敗し悪臭を放ったり、装置に悪影響を与える恐れがあります。